

製品紹介 New Products

市町村デジタル同報通信システム (TYPE2)

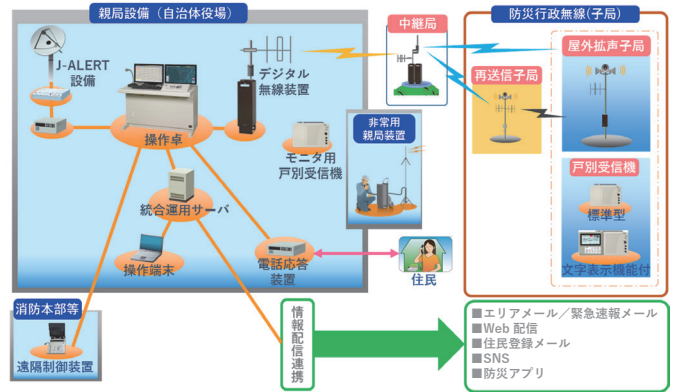
Digital disaster administration wireless communication system (TYPE2)

1. 概要

市町村デジタル同報通信システムは、住民に対して迅速に災害情報・行政情報を伝達する手段として地方自治体において整備が進められている。

全国的に整備が進められるなか、整備費用削減を目的とした新たな方式としてTYPE2規格が策定され、当社も開発したので紹介する。

当社製のデジタル同報通信システム (TYPE2) は、長年にわたる防災行政無線システム事業の経験を活かすことにより、防災行政無線システムに求められる信頼性、性能、機能を満たしつつ、より整備費用の削減を実現した。



システム構成例
System configuration

2. 特長

- ARIB (電波産業会) STD-T115に準拠。
- 無線変調方式を変更したことにより、従来方式と比較してサービスエリアの拡大を実現。
戸別受信機設置時の外部アンテナ工事費用を削減。
- 従来は屋内設置タイプのみであった「親局無線装置」, 「中継局無線装置」に新たに屋外設置タイプを設定。
屋外設置タイプとし、自装置の筐体にバッテリーを内蔵することで中継局舎及び直流電源装置を不要とし、整備費用を削減。
- 従来システムにおいて好評を得ていた「再送信子局」, 「拡声子局」の「スピーカ毎の音量制御機能」, 「スピーカ毎のなり分け機能」の搭載を継承。
また、「拡声通報毎の音量制御機能」により、従来以上に細やかな音量制御が可能。
自治体役場に設置されている親局設備から無線回線経由で制御するため、住民要望に速やかに対応可能。また運用者の負担を軽減。
- J-ALERT (全国瞬時警報システム) 設備との連携機能を標準搭載。
- 音声合成による通報機能や、多様な情報配信メディアとの情報連携機能を搭載可能。

主な仕様

項目	仕様
無線出力	10 W以下
アクセス方式	SCPC
通信方式	単信, 同報
音声符号化方式	AMR-WB+
再送信子局・拡声子局・拡声出力	120 W/240 W
音量制御	スピーカ毎の音量調整に対応 (無線回線制御可能)
主な機能	拡声放送機能 緊急一括, 一括, 群, 個別 親局⇄子局間連絡通話機能 文字情報伝送 テレメータ情報伝送 等
入力電源	AC 100 V (50 / 60 Hz)
動作温度	0 ~ +40 °C (屋内機器) 10 ~ 35 °C (サーバ, PC等) -10 ~ +50 °C (屋外設置機器)

3. 仕様

主な仕様

項目	仕様
変調方式	QPSK
周波数帯域	60 MHz帯 (54 ~ 70 MHz)
チャンネル間隔	7.5 kHz

発売時期 発売中
お問合せ先 官公庁事業統括部
電話 03-6832-1746